

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成31年4月4日(2019.4.4)

【公開番号】特開2017-158083(P2017-158083A)

【公開日】平成29年9月7日(2017.9.7)

【年通号数】公開・登録公報2017-034

【出願番号】特願2016-40948(P2016-40948)

【国際特許分類】

H 04 N 5/232 (2006.01)

【F I】

H 04 N 5/232 Z

H 04 N 5/232 A

【手続補正書】

【提出日】平成31年2月19日(2019.2.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ユーザの行動状態を示す行動状態情報を取得する取得部と、
前記行動状態情報に応じて、取得される画像の画角を制御する制御部と
を備える情報処理装置。

【請求項2】

前記制御部は、前記画像を撮影する撮影部が有するレンズの角度、前記レンズの焦点距離のうちの少なくともいずれかを変えることによって、前記画角を制御する
請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項3】

前記取得部は、センサの検出結果に基づいて、前記ユーザの前記行動状態を取得する
請求項1または2に記載の情報処理装置。

【請求項4】

前記センサをさらに備え、
前記情報処理装置は前記ユーザの頭部より下の部位に装着される端末である
請求項3に記載の情報処理装置。

【請求項5】

前記情報処理装置は、湾曲させたバンドで左右のユニットを繋げることによって構成された筐体を有し、前記ユーザの首に掛けて装着される
請求項4に記載の情報処理装置。

【請求項6】

前記情報処理装置を装着した前記ユーザから見た、前記ユーザの前方を撮影方向に含む撮影部をさらに備える

請求項1乃至5のいずれかに記載の情報処理装置。

【請求項7】

前記制御部は、筐体に形成された開口の内側に配置された前記撮影部が有するレンズの角度を変え、前記画角を制御する

請求項6に記載の情報処理装置。

【請求項8】

前記制御部は、撮影を行わない場合、前記レンズが前記開口から露出しないように前記撮影部を制御する

請求項 7 に記載の情報処理装置。

【請求項 9】

前記制御部は、撮影された画像の切り出し範囲を変えることによって、前記画角を制御する

請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 10】

前記制御部は、直立状態と乗り物に乗っている状態とを少なくとも含む前記行動状態に応じて、前記画角を制御する

請求項 1 乃至 9 のいずれかに記載の情報処理装置。

【請求項 11】

前記行動状態は、前記直立状態として歩行状態を含む

請求項 1 0 に記載の情報処理装置。

【請求項 12】

前記行動状態は、前記乗り物に乗っている状態として、自転車に乗車している状態を含む

請求項 1 0 に記載の情報処理装置。

【請求項 13】

前記制御部は、前記情報処理装置の姿勢にも基づいて、前記画角を制御する

請求項 1 乃至 1 2 のいずれかに記載の情報処理装置。

【請求項 14】

前記制御部は、前記情報処理装置の装着位置にも基づいて、前記画角を制御する

請求項 1 乃至 1 3 のいずれかに記載の情報処理装置。

【請求項 15】

前記制御部は、前記情報処理装置の移動の速さにも基づいて、前記画角を制御する

請求項 1 乃至 1 4 のいずれかに記載の情報処理装置。

【請求項 16】

前記センサは、慣性センサである

請求項 4 に記載の情報処理装置。

【請求項 17】

前記センサは、生体センサである

請求項 4 に記載の情報処理装置。

【請求項 18】

ユーザの行動状態を示す行動状態情報を取得し、

前記行動状態情報に応じて、取得される画像の画角を制御する

ステップを含む制御方法。

【請求項 19】

ユーザの行動状態を示す行動状態情報を取得し、

前記行動状態情報に応じて、取得する画像の画角を制御する

ステップを含む処理をコンピュータシステムに実行させるプログラム。